



# 持続可能な社会に関する研究

[キーワード: 環境政治学、持続可能性]

]

教授 栗栖聡

## 〈研究の概要〉

産業革命、市民革命によって特徴づけられる近代社会を環境的、生態学的持続可能性を踏まえた近代(再帰的近代)に転換すること(トランジション)が、21世紀の大きな課題である。

このような課題の解決に向けて、社会の構造的な側面及び個々のミクロな行為主体の行為という側面の両面から、分析・検討を加えるとともに、30年後や50年後の社会のビジョンを踏まえながら、ある種のバックキャストिंग的手法によって、短期・中期的な転換の道筋を提示する必要がある。

従来は環境政治学、環境法、環境経済学、環境倫理学等、個別専門領域の下位分野ごとに、持続可能性が提起されてきているが、本研究における環境政治学は、それ以外の社会科学、人文科学も包含するような形での、包括的なガバナンスの視点をとることを重視している。

こうした包括的視点を踏まえつつ、他方で個別的な持続可能性の問題領域に関する検討を加えることは、近年新たに確立されてきた「持続可能性学」の展開と社会への応用にとって大きな意味を持つものである。

## 〈主要研究業績〉

- ・飯島昇蔵他篇(2009)『現代政治理論』おうふう
- ・ロビン・エッカーズレイ著、栗栖聡他訳(2010)『緑の国家』岩波書店
- ・ロデリック・ナッシュ、栗栖聡他訳(2004)『アメリカの環境主義』同友館
- ・栗栖聡(2005)「ジョン・バリーの緑の政治理論:生態学的合理性と生態学的ガバナンス」徳島大学社会科学研究所、No.18,125-148
- ・栗栖聡(2004)アンドリュー・ドブソンのエコロジズム論:産業社会から持続可能な社会へ」徳島大学社会科学研究所、No.17,21-40

## 〈地域(行政)、NPOや企業と連携・共同研究可能なテーマ〉

- ・地域社会の環境的、生態学的持続可能性に関する研究

専門分野 : 環境政治学

E-mail : skurusu@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7185

HP : <http://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/60551/profile-ja.html>